

農大生の健闘を紹介します 〜今年も頑張りました!〜

東日本農業大学校等プロジェクト発表会、全国農業大学校等プロジェクト発表会で優秀な成績

平成27年1月22日〜23日、東北自治総合研修センター（宮城県 富谷町）で「平成26年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会」が開催されました。

同大会は、北海道・東北の6つの農業大学校等の代表者が、プロジェクト発表の部で15課題、意見発表の部で12課題について発表したもので、プロジェクト発表の部では上位3名が、意見発表の部では上位2名が全国大会に出場する権利を獲得します。

本校を代表して参加した学生達は、やや緊張した様子でしたが、日ごろの練習の成果を十二分に発揮し、堂々とした態度で発表しました。

その結果、プロジェクト発表の部では、最優秀賞（第1位）を農産加工経営学科2年の工藤ひかりさんが、優秀賞（第2位）を野菜経営学科2年の五十嵐美帆さんが受賞しました。

さらに、意見発表の部では、最優秀賞（第1位）を稲作経営学科2年の片山祥平さんが、優秀賞（第2位）を果樹経営学科2年の佐藤綾香さんが受賞しました。

受賞した4名の学生は、2月12日〜13日に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で開催された全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に出場し、全国の農業大学校等の代表者と競い合いました。その結果、プロジェクト発表の部で、優秀賞（農林水産省経営局長賞）を野菜経営学科2年の五十嵐美帆さんが、特別賞（ヤンマー株式会社賞）を農産加工経営学科2年の工藤ひかりさんが、見事に受賞しました。



ヤンマー学生懸賞論文・作文で銅賞を受賞しました

ヤンマー(株)が実施した「第25回ヤンマー学生懸賞論文・作文」の作文の部で、本校から2名が銅賞を受賞しました。

今回のテーマは『新しい農をクリエイトする』であり、その中で「やりがい・生きがい」としての農業への挑戦について、自分の目標と意見を書いた2名の作文が認められました。野菜経営学科2年の須藤智史さんはイタリア野菜との出会いと卒業後の栽培への挑戦について書いた作文で、農産加工経営学科2年の木村朝美さんは高校時代の研修の経験から農業を持続させていくための考えを書いた作文で受賞し、1月30日に東京で開催された入選発表会で表彰を受けました。本校の学生が入選するのは4年連続となります。

受賞した皆さん、本当におめでとうございます。この経験を糧に今後の一層の活躍に期待します。



銅賞「人を笑顔にする魔法」
野菜経営学科2年 須藤 智史
銅賞「農業の持続可能、そして発展のために」
農産加工経営学科2年 木村 朝美

第一回 肘折温泉「山菜料理コンテスト」最優秀賞受賞

農産加工経営学科2年佐藤藤さんが「春の香りのガトーショコラ」を出品し、最優秀賞を受賞しました。審査員からは「ガトーショコラの味が良いこと、チョコの甘みとふきのとうの苦みがマッチしていることが高く評価されました。このガトーショコラは「肘折温泉山菜の食まつり」期間中、肘折温泉の各旅館で提供され、県内外の宿泊者の舌を楽ませました。

技能五輪全国大会 フラワー装飾職種で敢闘賞を受賞しました
平成26年11月28日から12月1日まで愛知県で技能五輪全国大会が開催され、フラワー装飾職種には全国から62名が参加しました。当校からは花き経営学科2年の石川大和さん、尾形和泉さんの2名が山形県代表として出場、「花束」他3課題に取り組みました。その結果2名とも敢闘賞を受賞し、「受賞できてうれしい」と喜びの声が聞かれました。

